

2022年10月13日

南陵会会員各位

福岡県立八幡南高等学校同窓会南陵会
会長 山本 健二

総会議案書訂正のお知らせとお詫び

第58回誌面総会について、会員の皆様にお送りしている議案書内に誤りがありました。つきましては下記のとおり訂正させていただき、ホームページでの掲載とSNSによるご案内にて正誤をご案内させていただきます。ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。

記

第四号議案 令和4年度 収支予算（案）

◆誤◆

令和3年度においては（会報作成時では）集合による総会・懇親会は前年に続き中止となりましたが、代替案の検討が行われており費用支出も予想されるため当初予算（理事会了承）をそのまま残しました。従来募集をしていた記念誌広告を会報誌広告（寄付広告）としその収入を特別事業（カレーチャン制作事業）の費用に充てることとしました。母校支援は例年どおり実施する予定です。なお、理事会の協議により、予算計上以外の支出が必要になったときには科目間流用・予備費の使用、さらには特別会計の取り崩しについて併せてご承認をお願いします。

◆正◆

本年度入会者数（卒業生数：58期）は232名で昨年度より33名減少した。今後も減少が続くことが予想され、本会の事業予算は緊縮を余儀なくされるため年会費の納入をお願いし拡大を図る必要がある。

本年度は、総会は紙面により行うが、会員が楽しみにしている「懇親会」については時期をずらして集合開催とすることに決定している。各委員会の活動も再開し活発化する予定である。また、母校創立60周年の年度となりすでに記念行事が進行している。本会としても会長が実行委員長に就任するなど積極的に協力している。

これらのことを踏まえ、収入面では年会費収入の拡大に力を入れることとする。懇親会については従来の当番期担当を変更し本会主催（理事会担当）としたことと記念誌の作成を行わないことから開催経費を広告料でまかなうことが困難であるため、本年度に限り特別会計の取り崩しを行いたい。併せて母校創立60周年記念事業協賛経費（記念品代）についても特別事業であるとの観点から特別会計よりの支出としたい。

本年度よりwithコロナに移行し、委員会活動を含め活発化を図っていくが、活動経費の予算化については見送り、実績に従って費用の捻出を行っていきたい。そのため、予備費の使用等について理事会への一任をお願いしたい。

以上